EAP コンサルタント技能検定

制度概要・応募要領

（社）EAP コンサルティング普及協会

２０１５年２月

目　　次

◆ＥＡＰコンサルタント技能検定　制度概要

1. 制度の目的・趣旨

2. “EAP コンサルタント”の定義（CEAP との違い）

3. EAP コンサルタントの活動領域

4. 検定審査応募資格

5. 検定合格の効果

6. 検定制度の実施主体

7. 検定方法

◆EAP コンサルタント技能検定　応募要領

１．応募申し込み方法および提出資料について

２．録画の内容および作成方法

３．レポートの作成方法

４．審査結果の通知

５．審査官とプロセス

６．検定申込申請書

７．録画同意書

８．別添資料「ロール役作りシート」

◆ＥＡＰコンサルタント技能検定　制度概要

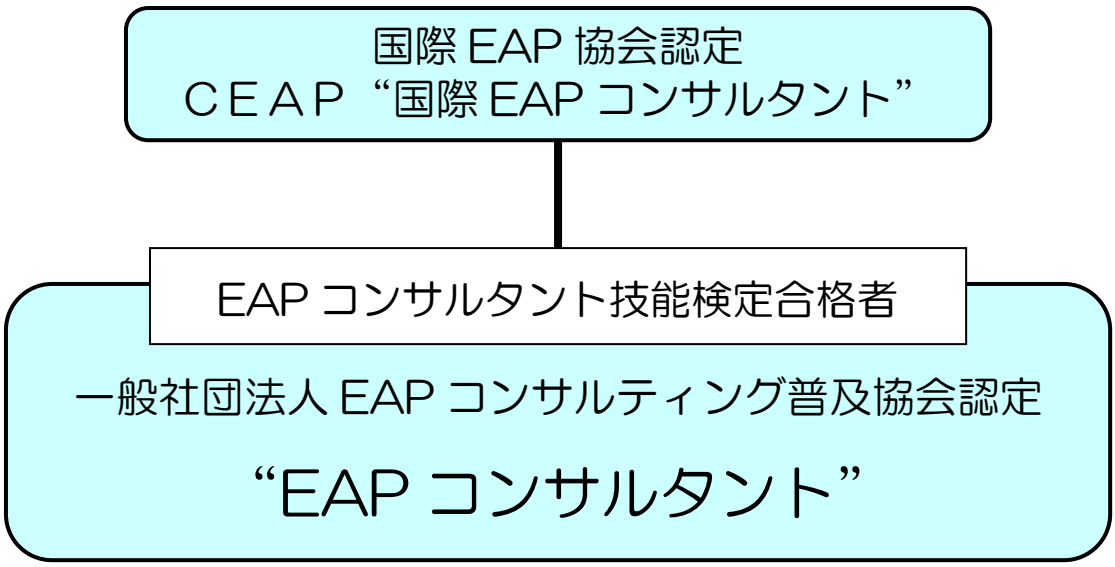
１．制度の目的・趣旨

EAP コンサルタント技能検定（以下「検定」と呼ぶ）は、Employee Assistance Professionals 協会（EAPA）の正式な下部組織である、

Metropolitan Tokyo Branch of the Employee Assistance Professional Association （一般社団法人　EAP コンサルティング普及協会）

が、EAPA 認定の Certified Employee Assistance Professional（CEAP：国際 EAP 協会認定 EA プロフェッショナル）有資格者の増加推進に資すること、および、本検定合格者の活動を通じて、ＥＡＰに関する有用性と認知度を高め、働く人々の物心両面における生活の質の充実に寄与することを目的として実施する、EAP の基礎知識、スキル及び、倫理・行動規範のルールを備えた EAP 専門家育成のための検定制度である。

また、この検定制度は CEAP の資格取得を目指すための導入・教育及び EAP への理解を深める機会としても活用されることを期待して制定されている。



２．“EAP コンサルタント”の定義（CEAP との違い）

“EAP コンサルタント”とは

ＥAP コンサルティング普及協会が公式に認定した者を指す。協会が実施する検定に合格した者に与えられる認定資格である。

この資格を持つ者は“EAP コンサルタント”として活動ができる。その活動の範囲は、EAP に関する基礎知識を活かし、職場への EAP の普及活動を担うことにある。基礎知識とは、ＥＡＰコアテクノロジーの中核となるマネジメント・コンサルテーションの初動が的確にできることを指す。

～～～ 検定合格者の名称（名刺等に記載できる表記）～～～～～～～～～～

●日本語表記

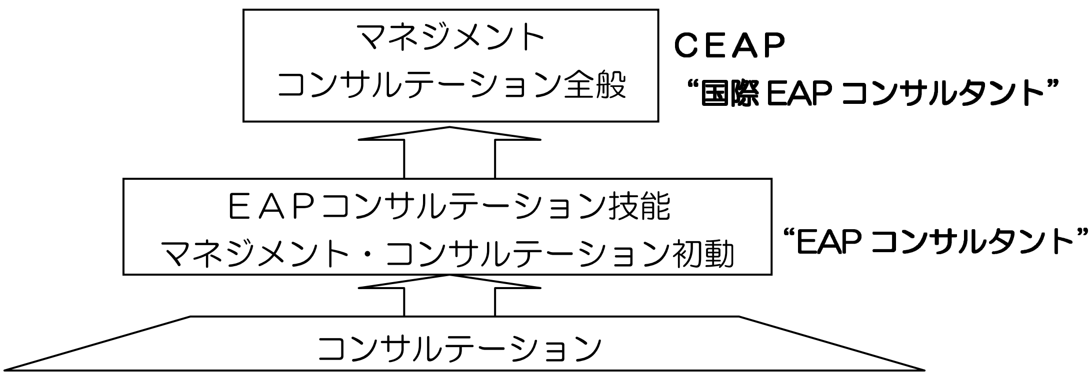
一般社団法人 EAP コンサルティング普及協会認定“EAP コンサルタント”（認定番号）

●英語表記

EAPA―Tokyo“EAP Consultant - Basic Level”（認定番号）

～～～

「”EAP コンサルタント”と”国際 EAP コンサルタント”の位置づけ」



★“国際 EAP コンサルタント”とは、

“EAP コンサルタント”の上級資格となる、CEAP 認定委員会(Employee Assistance Certification Commission：EACC）が付与する資格である。CEAP「シープ」（国際 EAP 協会認定 EA プロフェッショナル）とも呼ばれる。

この資格は、日本国内だけではなく、世界各国（米国以外の国々）で通用する資格である。CEAP 有資格者は、コアテクノロジーを実践できる者として国際的に認められた者で、EAP に関する専門的な知識を活かし、コンサルテーションなどをはじめとした支援やサービス提供を、職場やクライアントに自ら直接行うことができる。

３．“EAP コンサルタント”の活動領域

“EAP コンサルタント”は、日本国内において以下のような活動を行うことが出来、また期待される。

- EAP の認知度を高めるための普及活動
- EAP を効果的に提供するためのニーズリサーチ及び営業（プロモーション）活動、またそれに伴うコンサルテーション
- EAP が扱う領域における各種講座や講習・研修会の実施

（１）臨床系援助業務資格保有者で EAP 専門家を目指す人

既に働く方のカウンセリングを実施している場合は EAP カウンセラーと区分する。主に EAP 全体の中では部分的な業務であるセルフリアーやマネジメントリファーによる個人に向けたカウンセリングやセラピーの実践であり、それぞれの認定団体、専門家団体が指導する範囲の対人援助に関わる技法を実践しているという位置づけをしている。

検定に合格することで“EAP コンサルタント”して EAP 全体の基礎技能であるマネジメント・コンサルテーション技能があると位置付ける。これは既に取得した資格や受けた訓練等に付加されることである。

（２）臨床系援助業務資格「無」保有者で EAP 専門家を目指す人

特にカウンセリングやセラピーの資格や訓練の経験はないものの、業務上対人援助に関わる仕事をしている者が検定に合格すると EAP 全体の基礎技能であるマネジメント・コンサルテーション技能があると位置付ける。これは個人向けのカウンセリングやセラピーができるという位置づけではない。

（３）その他 “EAP コンサルタント”が行えること

一定の要件を満たせば、EA 技能検定講習の講師および審査員、CEAP 養成講座の講師・アドバイザー、スーパービジョンなどができる。

４．　応募資格

検定への応募資格は、「EAP コンサルタント技能検定講座」を修了していることが必要です。
※「EAP コンサルタント技能検定講座」の受講条件は、特に定めはありません。

５．検定合格の効果

Employee Assistance Professionals 協会（EAPA）が定義する EAP のメソッドを理解することが出来、EAP に関する活動に対する自信となる。また、“EAP コンサルタント”というステータスを獲得することにより、自身の活動の品質と信頼性を対外的に高めることが期待される。

合格者は“EAP コンサルタント”として活動を開始することができ、名刺等に表記することができるようなる。この意味は“EAP コンサルタント”として産業領域と医療、カウンセリングの領域をつなぐ基礎的な仕事ができるということを指す。

６．　審査の実施主体と方法

審査に関わる事項については、一般社団法人ＥＡＰコンサルティング普及協会（以下、「当協会」と呼ぶ）にて厳格に管理、実施される。

審査は直接の面接等は行わず、別に定めるコンサルティング（実技）の記録映像と、レポート提出により行われる。

※審査員は、当協会が審査能力ありと認める者を選任する
※審査は、審査員が各々の結果を元に、合議の上、厳格に判定する
※合格者は一定の条件を満たしたのち、CEAP の受検資格が与えられる

第７・８回 EAP コンサルタント技能検定審査応募要領

（２０１５年度）

EAP コンサルティング普及協会（以下、「当協会」と呼ぶ）では、次の期間に、EAPコンサルタント技能検定を実施します。

第７回
① 検定実施の時期 ： 2015 年６月
② 審査結果の通知 ： 2015 年７月
第８回
① 検定実施の時期 ： 2016 年２月
② 審査結果の通知 ： 2016 年３月
※具体的な日程は、講座主催団体（又は、当協会ホームページ）より告知されます。

●講座主催団体とは、当協会が認める CEAP 保持者が所属する企業、団体のことを指します。

１．応募申込方法および提出資料

「EAP コンサルタント技能検定講座」の演習時間の中で、検定提出用の録画を行います。

①提出書類（講座主催団体へ提出。講座主催団体から協会へ送付されます）

□ 受講・検定申込書
□ 録画の同意書
□ レポート

※検定受検者より提出された録画物や資料は、一定期間、協会で保管したのちに処分いたします。ご了承下さい。

②検定料金

●講座受講費用： ２５,０００円（税込）
検定審査料 ： １５,０００円
合 計 ４０,０００円

※講座前に講座主催団体に納入をお願いします
※講座受講費用には、テキスト代 1,000 円（税込）が含まれます

③講座の内容

「EAP コンサルタント技能検定講座」は、講座主催団体の開催となります。講座は講座モデル例（後記参照）に準じ、講座主催団体の定めるスケジュールにより講座学習総時間 11 時間以上、基本 2 日間で構成されます。

開催予定は、各講座主催団体の案内（又は、当協会のホームページ）をご覧下さい。

※講座は、CEAP 資格保持者、CEAP のスーパービジョンを受けている者により実施されます

＜特別措置期間のご案内＞

2013 年、2014 年の「EAP コンサルタント技能検定講座」を受講し、検定を不合格となった方の、直接の検定を本年中に限り受付いたします。

希望される場合は、**事務局へご連絡下さい**。必要なお続きをご案内いたします。

＜講座例　１日目４時間、２日目７時間モデル＞

	日程	章	学習テーマ	時間	形態
事前学習	講座前	1. EAP 基礎知識	（1）EAP コンサルタント技能検定の目的	自宅学習６時間	テキスト教材
			（2）EAP とは		
			（3）“EAP コンサルタント” とは		
			（4）EAP の歴史		
講座受講	1日目	●事前学習テスト	EAP 基礎知識の理解度確認テスト	１時間	試験
		2．EAP 概論	（1）コアテクノロジー（基本業務）	２時間	講義
			（2）周辺の広範囲な業務		
			（3）コンサルテーションに類似した用語の定義		
		3. EAP コンサルタントの倫理と行動規範	（1）倫理と行動の考え方	１時間	講義 演習
		●倫理テスト	理解度確認テスト		試験
	2日目	3. EAP コンサルタントの倫理と行動規範	（2）行動規範	１時間	講義 演習
		4. EAP コンサルテーション	（1）コンサルテーションのステップと進め方	１時間	講義
			（2）効果的なコンサルテーションのコツ	５時間	演習
			（3）ロールプレイ演習（検定提出用録画、レポート作成を含む）		

（ご注意）

※＜講座モデル例＞は一例です。詳細は講座主催団体に確認下さい

※適時休憩が入ります（２時間毎に 10 分間休憩が基準となります）

２．録画の内容および作成方法

録画については、応募申込者が実際にコンサルティングを実施している場面を撮影して頂きます。コンサルティングは以下の要領で実施して下さい。なお、撮影とレポート作成は通常、講座の演習時間内に行われます。

（１）コンサルティ（相談をする人）は、原則、受講生の中から選出します。

（２）相談のシナリオはコンサルティに任せ、コンサルティが現実に直面している事実ではなく、架空の事例を想定して下さい。

※次の「ロールプレイ役作りシート」程度の情報は、予め設定して下さい。この情報は、コンサルティとコンサルタントがロールプレイ前に共有し、予め双方が把握していることを前提に開始して下さい。

●「ロールプレイ役作りシート」記入例

ロールプレイ役作りシート

① 部下の復職のことで上司が来談

○概　　要

休職していた部下が復職してくるが、どのようにしたら良いのか、管理監督者としての対応方法を知りたい。

○コンサルティ

業　種	規模	地　域	職 種	職 位	性別	年齢
精密機械製造	300名	関東の地方都市	製造グループ	チームリーダー	男性	45歳

備考：

○相談の経緯

同様の経験がある同期入社のチームリーダーからＥＡＰの情報をもらって自ら相談に来た。

○クラアント（課題を持っているとされる対象者）

関係	性別	年齢	状　　況
チームの部下	男性	38歳	うつ病で２年間休職したが、来月から復職する。

備考：短時間勤務制度あり

（３）相談ケースは下記のケースの中から一つを選んで下さい。

①「部下の復職のことで上司が来談」
休職していた部下が復職してくるが、どのようにしたら良いのか、管理監督者としての対応方法を知りたい。

②「メンタル不調になった部下について上司が来談」
最近、休みがちで気にかかる部下がいる。カウンセリングを勧めたいが、どのようにしたら良いか。管理監督者として出来ることを知りたい。

③「問題行動の従業員のことで人事部門担当者が来談」
職場での態度、言動に問題があり、ハラスメントの行為者として名指しされた従業員がいる。上司や同僚も扱いに困り距離を置いている。総務人事としての役割と対応のポイントを知りたい。

④「会社の EAP 対策のことについて人事担当者から相談」
ここ数年、メンタルヘルス不調の社員が増加傾向の会社の人事担当者から、EAP への取り組みについて教えてほしいとの依頼があった。どのような対策を行えば良いか知りたい。

（４）録画方法

・コンサルティには、録画提出先・使途を説明し、予め「録画同意書」を提出してもらい録画を開始して下さい。
・録画は、開始から 10 分以上最大１８分間以内として下さい。
・録画データは、原則、USB データに保管をお願いします。
・データ題名には、受検者の氏名（ローマ字）をファイル名をつけて下さい。
・電子メール等でのデータ送付は、協会では受け付けておりません。
・USB には、①受検者氏名、②撮影日のメモ書きを添えて下さい。
・表情が分かる画質で撮影し、コンサルタントとコンサルティの上半身が画面に納まるように撮影して下さい。
・USB は保護ケース等に入れ、破損しないようして下さい。

３．レポートの作成方法

（１）テーマ：①コンサルティが抱えている問題点、②達成可能と思われるゴール、③ゴール達成のために取りうる選択肢、④予想される障害、⑤その他（500 字以内）

（２）用紙サイズは A4 を使用して下さい。

※審査レポート（見本）

（審査レポート）
テーマ：①「部下の復職のことで上司が来談」

コンサルタント　協会太郎

①コンサルティが抱えている問題点
復職者に対してどのように接していけばよいのかが分からない。また、メンタルヘルス不調者への対応が初めてのため、組織としての対応の進め方が分からない。

②達成可能と思われるゴール
・社内リソースを活用し、部下の状況把握の分担をはかる
・他社での対応例を紹介し、コンサルティの心理的負担を軽減する
・定期的な部下面談を行うコンサルティに、専門的な助言を行う

③ゴール達成のために取りうる選択肢
・コンサルティ面談のほか、定期面談を産業保健スタッフに依頼する
・部下面談後のコンサルティにフォローアップの連絡を入れる
・産業保健スタッフから主治医への連携を促す

④予想される障害
・社内リソースの不足、物理的な（場所、時間帯）連携の取りづらさ
・部下本人の拒絶　→拒絶時は、部下へカウンセリングを提供しフォロー

⑤その他
会社リソースの整備が遅れており、コンサルティ（直属上司）による対応が多く求められる状況であった。そのためコンサルティの上司への協力体制を、より固められるようプランを立てている。

以上、490字

４．　審査結果の通知

審査結果については、当協会より郵送にて発表いたします。

５．　審査官とプロセス

技能検定講座を担当した講師が審査官になることはできません。当協会が審査官を選定して、映像とレポートの審査を行います。

検定申込申請書

※講座主催団体にご提出をお願いします。
※全ての情報を明確に記載いただきますようお願い申し上げます。

1. 受験者名（ふりがな） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2. 会社名（ふりがな）（所属団体）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3. 住所（ふりがな）〒 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4. 電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Fax ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5. E-mail ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

6. ＥＡＰコンサルタント普及協会の会員ですか？
□ はい □ いいえ （受検に際しては、協会会員である必要はありません）

7. 「EAP コンサルタント技能検定講座」を修了していますか？
□ はい □ いいえ （終了していないと受検できません）

一般社団法人
ＥＡＰコンサルティング普及協会　御中

一般社団法人
ＥＡＰコンサルティング普及協会　御中

録画同意書

私は、私の個人情報の取り扱いにあたり、以下の事項をすべて理解し、同意するとともに、その証として本書を提出します。

１．私は、（社）ＥＡＰコンサルティング普及協会の検定審査に際する録画の際に、以下に記載する私の情報が提供されることに同意いたします。

・氏名　　・顔写真　　・会話動画　・音声など

２．講座開講団体が私に対して、他の目的で（※）個人情報、その他の資料の使用に関する同意、開示を求めた場合には、自己の判断のもと、これを同意し、または同意しないことが出来ることを理解いたします。

※個人情報とは、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月その他の記述等により特定の個人を識別することが出来るもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することが出来ることとなるものを含む）をいいます。

３．検定受検者より提出された資料は、一定期間、当協会で保管したのち処分いたします。あらかじめご了承下さい。

年　　月　　日

氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

別添資料「ロールプレイ役作りシート」

ロールプレイ役作りシート

○概　　要

○コンサルティ

業　種	規　模	地　域	職　種	職　位	性別	年齢

備考：

○相談の経緯

○クライアント（課題を持っているとされる対象者）

関　　係	性別	年齢	状　　況

備考：

※ご不明な点は、当協会までメールにてお問い合わせ下さい。

●お問合せ先

一般社団法人 EAP コンサルティング普及協会　事務局

e-mail：　eapatokyo@eapjapan.com

URL　：　http://www.eapatokyo.org/

〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-6

マルイト銀座ビル８Ｆピースマインド・イープ（株）内